

# フォト句会22年3月度成績

開催日：3月14日(月)

時 間：15時～17時

場 所：セー104号室

出席者：7名＋投句2名

写真出題：長尾

# お題写真



## 付け句 出題：長尾（池の畔の園児たち）

- 1) 観察をされる園児ら するメダカ 松田 昌康  
見る方・見られる方を逆転した発想が功を奏した。
- 2) 注意した途端に落ちるキカン坊 中村 晃也  
何故か心配した通りにやらかす子供、いますね。
- 3) 命の芽初めて触れて輝く目 長尾 進一郎  
春の池での命の誕生をじっと見つめる子供たち。
- 4) 水ぬるみ川辺の散策心浮く 下山 健夫  
春のうきうきした気分を素直に詠んだ句だ。

※ 写真を詳しく見て、ブラごみを拾っているところだと結論したメンバーもいます。

われ先に春の匂ひを嗅ぎつける  
(晃也)



# かしましき女雛に男雛声無くす (進一郎)





似た香り フーチン・トランプ  
それとアベ（正ニ）

慈しむ土の感触春巡る

（進一郎）



うららかなや  
シニア至福の  
梅見かな(晃二)



寸評:

1) われ先に春の匂ひを嗅ぎつける 中村 晃也

首を長くしている亀の姿に、ぴったりの句が付いた。

2) かしましき女雛に男雛声無くす 長尾 進一郎

ひしめく女雛の喋り声から逃げ出したくなる。

3) 似た香りプーチン・トランプそれとアベ 矢澤 正二

ライオンの顔からこの句を考えた発想力に脱帽。

4) 慈しむ土の感触春巡る 長尾 進一郎

待ち侘びた季節が巡って来た喜びを句にした。

5) うららかやシニア至福の梅見かな 安藤 晃二

シニアならずとも、気持ちがなごむ穏やかな光景。